

◆3年生 大学合格者から話を聞く会

3年生は明日からの2日間、大学入試センター試験を迎えます。ここから一般入試が本格化していきますが、すでに行われたAO、推薦入試で大学に合格した先輩から受験に向けての心構えや準備していく上でのアドバイスなどを、2年生の皆さんに話してもらいました。今回の学年だよりでは、その内容を抜粋してお知らせします。先輩の話を振り返って自身の受験準備に役立てましょう。

今回話をしてくれた先輩たち

普通コース

3年2組 高野ななかさん 新潟医療福祉大学 医療経営管理学部

3組 内藤慧大君 茨城大学 教育学部

特進コース

7組 苅部利貴君 新潟大学 経済社会科学部

7組 土橋香穂さん 新潟県立大学 国際地域学部

8組 相場玲奈さん 名桜大学 国際学群

*「AO」、「推薦」入試で合格した先輩たちです。2年生が受験する際には、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」と名称が変更されます。

A 志望校決定について

- ①合格した先輩から話を聞いたり、インターネットで調べたりして情報を仕入れた。
- ②他人に勧められた分野ではなく、自分でやりたいと思ったことを貫くのが大切。自分自身が興味を持っている分野に進まない結局続けられない。親にもしっかりと理解してもらえるように話しておくことも必要。
- ③「国公立大に合格したのはその人にもともと力があったから」ではなくて、努力したからだと聞いて、自分も努力しなければいけないと覚悟した。
- ④社会の先生になりたいという希望を実現できる大学を探した。また部活動の大会のためオープンキャンパスに参加できなかったのも、自分で大学に電話をかけて大学の方に説明・見学する機会を作ってもらった。自分から積極的に行動することが進路決定において重要だと思う。
- ⑤先生に相談したことで、専門学校よりも大学に行った方が就職の幅が広がるなどと教えてもらい、自分の視野が広がった。
- ⑥いろいろな人に相談することで、意外な人からがんばるきっかけをもらえることもある。たくさんの人に相談してみると良い。

裏面に続きます

B 2年生のうちから準備しておくの良いこと

①勉強する習慣をつけること。

継続して勉強するコツとしては、まず勉強のハードルを下げる。5分でも10分でも良いからという風にしたり、さまざまな本や新聞を読んだりすることも勉強だと考える。私は昨日も、スマホのアプリで南アフリカの講師と英会話のレッスンをした。こういう工夫をして、今では毎日2時間くらいは家庭学習ができるようになった。

②新聞記事に対して自分の考えを書くこと。

小論文や面接などで自分の考えを主張することが非常に重視される。そのために今から自分の意見を書いて、国語の先生に点検してもらうなど準備しておくに役に立つ。

C 3年生になってからの準備

①勉強を継続すること。

つらく苦しくて、うまくいかないこともたくさんあるけれど、毎日コツコツとすることが大切。小論文を時間内に書き上げるように何回も練習して、指導担当の先生に添削してもらったり、リスニングの練習を毎日続けたりした。

②面接やプレゼンテーションの練習を、何度も先生に見てもらいアドバイスを受ける。

人前で話すには「慣れ」が必要なので、たくさんの先生にお願いして練習してもらった。

D 後輩たちへのメッセージ

①自信を持っている人は強い。

勉強でも、部活動でも、「自分はこれをやってきた」という自信がある人は力を発揮できる。他人に誇れる何かを持ちましょう。

②普段の学校生活、学校の勉強が基本。

当たり前な学校生活を送ることや学校の授業、課題、講座などをがんばっておくことが大切。そこが、すべての基礎になる。

③「もっと早く勉強しておけば…」と後悔するよりも、これからどうがんばり続けるかが大切。最後まであきらめないこと。やりたいことが決まらない人は、まずいろいろな人に相談してみてください。つらいとき、苦しいときにもきっと力になってくれる。

④大変で苦しいことが多かったが、努力した分、喜びも大きかった。

⑤受験や受験勉強など「大変そうだ」「めんどくさい」などと思っている人が多いと思うが、取り組み方や考え方によっては楽しい時間になる。そして、自分のためになることばかりだったと、私は思えるようになった。勉強を身近なものにして、さまざまな角度から考えられる柔軟な発想で、充実した時間を過ごしてください。

先輩たちから話を聞いて刺激を受けた生徒も多かったようです。いよいよ2年生の順番です。先輩たちが卒業するまでにはもう少し時間がありますから、直接アドバイスをもらいたいという人、受験や大学のことについて質問したいという人は積極的に行動しましょう。行動することで、進路希望達成に近づくことができます。